

あきる野9条の会 / 発足イベントに252名参加 市民の過半数の賛同獲得を目指して キックオフ！



【写真上：講演する小森先生、下：会場いっぱいの参加者】

小森先生の講演に共感の声、声・・・ お国ことばや英語の9条も朗読

4月29日、午前10時から「憲法9条で平和を守る あきる野9条の会」発足イベントが、あきる野ルピアホール（東京・あきる野市）で開催され、主催者の予想を越える会場満杯の252名が参加しました。

呼びかけ人を募るために奮闘した世話人の瀬沼辰正さん(81)が「誰かがやらなければと決意し取り組みましたが、多くのおみなさんに呼びかけ人を気持ちよく引き受けていただいた。それだけ9条を守る市民の熱い思いを感じた」と開会の挨拶。次いで事務局の前田真敬さん(61)が経過報告や会の名称・運営方針・サポーターなどを提案(当日の資料に掲載)、大きな拍手で会の発足が確認されました。

次いで呼びかけ人を代表して濱久雄さん(元大東文化大教授)が挨拶、玉泉寺の住職永井榮亮さんと呼びかけ人の茂木靖幸さん(引田在住)のメッセージが朗読されました。

駆けつけた小森陽一先生(東大教授・9条の会事務局長)が約1時間にわたって「私達は9条で守られている。9条があったからこそアジア地域の平和が保たれた。まさに9条は世界の平和の宝だ」と講演し、9条を守る運動を大きく広めようと訴え、参加者に深い感銘を与えました。

リレートークでは様々な分野の市民が発言し、お国ことばや英語バージョンの9条の朗読も行なわれました。

発足した「憲法9条で平和を守る あきる野9条の会、通称：あきる野9条の会」は、市民の過半数の結集を目指して「社会的な見方、政治や宗教などの様々な相違点を越えて、憲法9条を守るという一点での共同をすべてのあき

る野市民の皆様へ訴えます」と市民へのアピールを採択したあと、代表の一人である野武雅之さんが閉会の挨拶を行ない、「市民過半数の9条を守る賛同の獲得を目指す運動」がスタートしました。

私のメッセージ（賛同カードより）

人類の宝を守りましょう。私たちの時代に消し去る事はできません。=H.Sさん(雨間) 戦争の苦しさを経験した者として、戦争への道を歩む憲法改悪に反対します。=I.Mさん(日の出町) 憲法9条は守らなければならないと思っています。戦争をする国にしてはいけません。9条を実現できる国にしていかなければと思うので、会に参加します。(党派性は排除してくださいね)=S.Kさん(高尾) 1944年、戦争の最中に生まれた私に、両親は、平和への願いをこめて「和子」と名付けました。両親のその切なる思いも受け継いで、あきる野9条の会へ参加します。=S.Kさん(入野) 私は小学校6年の年に終戦、憲法9条が出来本当にうれしく思いました。9条をなくしたら大変な事になります。=匿名さん 呼びかけを待っていました。病気のため会合などには出席できませんが。呼びかけ人になっていいです。=H.Yさん(留原) 一旦タガが外れると政治家や経済界の名誉欲、メンツ、物欲の為に国民の生命や安全、生活、自由がないがしろにされるのは必定了。=匿名さん 主権者である私たち一人ひとりが憲法9条を自分のものとして考えていかなばならないと思う。・・・私たちが笑顔で生きていくために！=匿名さん

事務局に思いやメッセージをお寄せください。

サポーター紹介（敬称略）

代表：瀬沼辰正、濱久雄、永井榮亮、佐野泰道、野武雅之
事務局長：前田真敬（二宮・自宅を事務局とします）
事務局員：三井基次(瀬戸岡)、華房千代子(雨間)、小林光男(引田)、高山喜代子(留原)、片野坂勝代(二宮)、田中義夫(草花)、矢澤則子(秋留)。

皆様もサポーターにご登録ください。

賛同カードを集めましょう



お問い合わせは、事務局がお近くの事務局員に